

## 令和6年度 学校教育自己診断まとめ

### 【回答数（回収率）】

	在籍数 (12月1日現在)	生徒回答数	保護者回答数	教員回答数
1年生	210	182(86.7%) (昨年度 79.4%)	54(25.7%) (昨年度 36.3%)	64(100%) (昨年度 100%)
2年生	183	154(84.2%) (昨年度 77.6%)	49(26.8%) (昨年度 28.2%)	
3年生	157	137(87.3%) (昨年度 70.1%)	38(24.2%) (昨年度 37.8%)	
合計	550 (昨年度 542)	474(86.2%) (昨年度 76.0%)	141(25.6%) (昨年度 34.1%)	

### 【はじめに】

4月の入学式、遠足や体育祭、2年生の修学旅行など学校行事は、従来の形で実施することができた。また、新学習指導要領が変わり、3観点での評価を実施した学年が卒業を向ける年でもありこれまでの取り組みが一定評価される年でもある。今年度の学校教育自己診断の結果をもとに今後取り組むべき課題や、改善を行い、よりよい学校を目指していかなければならない。

学校教育自己診断の回収率において、生徒の回収率が10%増加している。実施形態は昨年と同様LHRでの実施であった。当日欠席した生徒など、後日に回答してもらうなどの担任の先生が回収に尽力して頂いた部分大きい。一方で保護者の回収率が10%近く減少している。昨年と同様に、紙での配布（QRコード）に加え、LINEなどで実施をした。これだけの減少に対して何らかの対策を講じる必要がある。

### 【アンケートの変更点】

生徒・保護者・教職員のアンケートの内容について変更点はなく、昨年度と同様である。  
生徒・保護者について、各選択肢に「判断できない」を追加した。

## 【学校経営計画の評価指標に挙げた項目について】

&lt;生徒対象&gt;

- ③ 「授業はわかりやすい。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて80%以上を維持する。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
83.5%(89.5)	93.5%(85.2)	87.6%(92.2)	88.0%(88.8)

- ④ 「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて、90%以上を維持する。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
96.7%(95.1)	85.9%(77.0)	89.1%(98.3)	94.3%(93.0)

- ⑤ 「将来の進路や生き方について考える機会がある」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて、90%以上を維持する。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
95.1%(93.8)	96.8%(93.3)	86.1%(96.5)	93.0%(94.4)

- ⑥ 「自分の考えや意見を伝える力が付いたと思う。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて、70%以上を維持する。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
69.8%(79.0)	83.9%(77.0)	72.3%(80.9)	75.1%(78.9)

- ⑬ 「先生は悩みや相談にいていねいに応じてくれる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて、80%以上を維持する。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
72.0%(76.5)	81.9%(79.3)	68.6%(88.7)	74.3%(80.8)

- ⑰ 「学校行事や委員会活動、部活動に積極的に取り組んでいる」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて、70%以上を維持する。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
80.2%(79.0)	78.1%(75.6)	70.8%(76.5)	76.8%(77.2)

- ⑱ 「制限された中ではあるが、学校行事に満足している。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて80%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
93.4%(92.6)	93.5%(82.2)	84.7%(93.9)	90.9%(89.6)

- ⑲ 「自分からあいさつやお礼を言うことができる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて85%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
90.1%(88.9)	85.5%(89.6)	85.4%(87.8)	87.3%(88.8)

- ⑳ 「外国の文化に触れる機会が多く、多文化共生が進んでいる。」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて80%を維持する。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
85.7%(87.0)	81.9%(85.9)	81.0%(93.9)	83.1%(88.6)

- ㉔ 「エンパワメントスクールに来て良かった。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて80%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
93.4%(92.6)	96.1%(88.9)	90.5%(92.2)	93.5%(91.3)

<保護者対象>

- ⑮「外国の文化に触れる機会が多く多文化共生が進んでいる。」に対して「よくあてはまる」「ややあてはまる」併せて80%以上の維持



1年生	2年生	3年生	合計
83.3%(87.8)	81.6%(91.8)	89.5%(85.5)	84.4%(88.1)



※「あてはまらない」「あまりあてはまらない」合わせて2.8%(8.6)  
「判断できない・わからない」「無回答」合わせて12.8%(3.2)

- ⑰「担任やその他の先生に相談しやすい。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて70%以上の維持。



1年生	2年生	3年生	合計
59.3%(62.2)	61.2%(67.3)	68.4%(79.0)	62.4%(69.2)



※「あてはまらない」「あまりあてはまらない」合わせて19.9%(26.5)  
「判断できない・わからない」「無回答」合わせて17.7%(4.3)

- ⑱「エンパワメントスクールに入学させて満足している。」に対して、「よくあてはまる」「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
83.3%(87.8)	83.7%(85.7)	92.1%(90.3)	85.8%(88.1)



※「あてはまらない」「あまりあてはまらない」合わせて7.8%(10.3)  
「判断できない・わからない」「無回答」合わせて6.4%(1.6)

<教員対象>

- ③「今年度、電子黒板等ICT機器を活用し、授業を行った。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

よくあてはまる	ややあてはまる	合計
67.2%(63.5)	29.7%(27.0)	96.9%(90.5)



【教育庁等の指示により、この数年間で追加した項目について】

◆いじめについて

<生徒対象>

- ⑭「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
73.1%(84.0)	67.7%(83.0)	57.0%(87.8)	66.8%(84.7)



※「あてはまらない」「あまりあてはまらない」7.6% 「わからない」25.4%

<保護者対象>

- ⑫「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
46.3%(70.3)	38.8%(67.3)	50.0%(66.1)	44.7%(68.1)



※「あてはまらない」「あまりあてはまらない」13.4%(24.9)  
「わからない」41.1%(7.0)

<教員対象>

- ⑬「生徒間のいじめや差別につながる行動については未然防止に努め、事象が起きた場合には丁寧にかつ迅速に対応している。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

よくあてはまる	ややあてはまる	合計
64.1%(60.3)	29.7%(38.1)	93.8%(98.4)



◆校則・指導について

<生徒対象>

- ⑯「校則や指導について、納得できる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
54.4%(62.3)	63.9%(46.7)	44.6%(58.3)	54.6%(56.1)



<保護者対象>

- ⑭「学校の校則や指導方針に共感できる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
72.2%(66.2)	67.3%(67.3)	71.1%(74.2)	70.2%(69.2)



※「あてはまらない」「あまりあてはまらない」19.1%(27.6)  
「わからない」9.9%(3.2)

◆学校へ行く楽しみについて

<生徒対象>

- ⑰「学校に行くのは楽しい。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
69.8%(77.8)	69.7%(68.9)	67.8%(70.2)	68.8%(69.6)



<保護者対象>

- ④「子どもは学校に行くのを楽しみにしている。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は、

1年生	2年生	3年生	合計
79.6%(74.3)	77.5%(71.4)	73.6%(79.0)	77.3%(75.1)



## 【結果と分析】

### ＜生徒向け＞回答数 474（昨年度 412）

- 「③長吉高校の授業は、わかりやすい。」については、  
全体として 88.0%で、目標の 80%を維持し、昨年度と同様高い値であった。特に 2 年生においては 93.5%と高い数値となった。2 年生になり、モジュール授業（30 分授業）がなくなり、2 年生ギャップが近年あったが、教職員の授業改善や工夫が生徒に効果的に作用されていることがわかる。また、Chromebook や ICT 機器を活用している（教員、生徒ともに 90%以上）ことも、この結果に表れている。
  
- 「⑥自分の考えや意見を伝える力がついたと思う。」については、  
全体として 75.1%で、70%以上の維持ができた。「正解が一つでない問題に取り組む」授業のエンパワメントタイムがうまく作用されている。ただ、1 年では 10%減少しており、生徒層の変化に伴い、改善が必要である。
  
- 「⑬悩みや相談に、ていねいに応じてくれる先生がいる。」については、  
全体として 74.3%で、目標の 80%以上を維持することはできなかった。特に 3 年生が 68.6%で昨年度から 10%以上減少している（8 期生：79.3%→68.6%）。また、否定的な回答が 1 年：14.3%、2 年：6.3%、3 年：11%と各学年とも 10%近くあり、早急な対応が必要である。
  
- 「⑱制限された中ではなるが、学校行事や HR は楽しい。」については、  
全体として 90.9%で、目標の 80%以上を維持することができた。体育祭や文化祭をより生徒主体とした運営にしたことにより、生徒自身の達成感が得られたことがこの数値につながっている。また、各学年が思考を凝らしたスポーツレクリエーション大会が生徒の数値の上昇につながったと考えられる。
  
- 「⑲自分からあいさつやお礼を言うことができる。」については、  
全体として 87.3%で、目標の 85%以上を維持することができた。毎朝の校長、教職員による正門での声掛け等、学校全体での取り組みが高い数値につながっている。
  
- 「㉒外国の文化に触れる機会が多く、多文化共生が進んでいる。」については、  
全体として 83.1%で、目標の 80%を維持することができた。人権文化部を中心とし、授業においても、多文化共生を取り入れたものを扱い、また、多文化研究会の活動を通して文化祭や校外での活動が数値につながっている。

**<保護者向け>回答数 141 (昨年度 185)**

- 「①学校はエンパワの教育方針を伝え、情報提供の努力をしている。」については、令和4年度から80%以上の高い数字を維持できている。学校からの連絡方法に、HPやLINEに加え、校長ブログの更新を頻繁に行っており、そのようなツールをうまく活用していることが、一定評価されたと思われる。
- 「⑩学校は将来の進路や職業などについて丁寧な指導を行っている。」については、今年度は68.1%で昨年度から7%減少している(昨年度75.1%)。ただ、今年度から選択肢に「判断できない」を追加したことで、「判断できない」を回答した保護者が20%近くあることが影響していると考えられる。
- 「⑰担任やその他の先生に相談しやすい。」については、今年度は62.4%で昨年度から7%減少している。(昨年度69.2%)。学年別にみると1年:59.2%、2年:61.2%、3年:68.4%で、学年を重ねるに従い保護者の信頼が増していることがわかる。また、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と否定的な回答は全体で19.9%となり昨年度の26.1%から6%減少している。学年別では1年:24.1%、2年:26.6%、3年15.8%である。

**<教職員向け> 回答数 64 (100%)**

- 「①生徒は授業にまじめに取り組んでいる。」については、今年度は79.7%で昨年度から16%増加した(昨年度63.5%)。生徒への質問「①私は授業にまじめに取り組んでいる」は、今年度は80.1%(昨年度90.8%)、「②長吉の生徒は授業にまじめに取り組んでいる」は、今年度は69.4%(昨年度67.0%)であった。
- 「⑥カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。」については、今年度は92.2%で昨年度から5%増加し高い数値となった(昨年度87.3%)。
- 「⑯生徒や保護者の意見を聞く姿勢がある。」については今年度は95.3%で昨年度から5%増加している(昨年度90.5%)が、生徒、保護者への質問「担任等と相談しやすい」は生徒が74.3%(昨年度80.8%)、保護者が62.4%(昨年度69.2%)で教員の思いと生徒、保護者の受け取り方には差がある。
- 「⑰わかる喜びや学ぶ意欲を呼び起こし生徒の力を引き出す学校である。」については、今年度は92.2%で8%増加している(昨年度84.1%)。昨年は減少しており、課題としていた部分を今年度は改善したことが、数値に表れている。
- 「⑲学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」については、今年度は85.9%で昨年度とほぼ同じ数値である(昨年度85.6%)と高い数値を維持している。教員間で日常的に情報共有する機会や時間がとることができたと考えられる。
- 「⑳教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」については、今年度は82.8%で5%増加した(昨年度77.7%)。学校教育自己診断やアンケート、提案などを具体的な指導方針や方法として速やかに盛り込んでいったことがつながっている。

## <教育庁等の指示により、この数年間で追加した項目について>

### ◆いじめについて

#### ・生徒対象

「⑭いじめについて、困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」については、

今年度は66.8%で大きく減少している（昨年度84.8%）が、「判断できない」と回答した生徒は25.4%で、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と否定的な回答をした生徒が7.6%（昨年度19.9%）を考えると、90%の生徒は肯定的な回答を考えることができる。

いじめや差別に対して教職員がアンテナを張り、丁寧に対応していることで生徒の教職員に対する信頼が少しずつ大きくなっていることの表れだと思われる。

#### ・保護者対象

「⑫いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」については、

今年度は44.7%と大きく減少している（昨年度68.1%）が、「判断できない」と回答した保護者は41.1%であった。また、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」は13.5%と昨年度から10%減少しており（昨年度24.9%）、学校の対応について保護者に理解を得られている。

#### ・教職員対象

「⑬生徒間のいじめや差別につながる行動については未然防止に努め、事象が起きた場合には丁寧にかつ迅速に対応している。」については、

今年度は93.8%（昨年度98.4%）で高い数値を維持している。また、否定的な回答した生徒は今年度は7.6%（昨年度13.9%）と減少しており、一定の成果があった。ただ、すべての生徒が安心した学校生活を送れるようさらに努めなければならない。

### ◆校則・指導について

#### ・生徒対象

「⑯学校の校則や指導について納得できる。」については、

1年生54.5%、2年生63.9%（1年次62.3%）、3年生44.6%（2年次46.7%）、全体としては54.6%（昨年度56.0%）であった。半数程度の生徒が否定的な回答をしている。引き続き校則や指導の意味を丁寧に説明し、ルールや校則が自分たちのためであり、自分を守ることに繋がると思えるようなルールや指導内容を考えていくことが課題である。

#### ・保護者対象

「⑭学校の校則や指導方針に共感できる。」については、

1年生72.2%、2年生67.3%（1年次66.2%）、3年生71.1%（2年次67.2%）、全体としては70.2%（昨年度69.2%）と一定の理解は得ている。また、否定的な回答が16.4%（昨年度27.6%）となった。

#### ◆学校へ行く楽しみについて

##### ・生徒対象

「②学校へ行くのは楽しい。」については、

1年生 69.8%, 2年生 69.7% (1年次 87.0%), 3年生 67.8% (2年次 85.9%)、全体としては、68.8% (昨年度 88.6%)と大幅に減少している。

##### ・保護者対象

「④子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」については、

1年生 79.6%, 2年生 77.5% (1年次 74.3%), 3年生 73.6% (2年次 71.4%) で、全体としては 77.3% (昨年度 75.1%) と横這いである。

生徒が思っていることと、保護者とでは少しずれがある

#### ◆エンパワメントスクールへの満足度

##### ・生徒対象

「②エンパワメントスクールに来てよかった。」については、

1年生 93.4%, 2年生 96.1% (1年次 92.6%), 3年生 90.5% (2年次 88.9%)、全体としては 93.5% (昨年度 91.3%) と増加している。すべての学年で 90%以上と高い数値が出ている。

##### ・保護者対象

「⑩子供をエンパワメントスクールへ入学させて満足している。」については、

1年生 83.3%, 2年生 83.7% (1年次 87.7%), 3年生 92.1% (2年次 85.7%)、全体としては 85.8% (昨年度 88.1%) と横這いである。

#### 令和6年度〈全体を通して〉

・昨年度から、全体として高い評価を得られている。このことは学校側の取り組みや指導方針が生徒や保護者に理解されていると考えられる。特に学校行事については 90%の生徒が満足している。この数値を維持しながら、改善する部分に取り組んでいかなければならない。そういった取り組みを学校全体で考え、実行していくことが今後の課題である。特に「担任やその他の先生に相談しやすい」の否定的な回答が生徒は 10%、保護者は 20%あり、重大課題としてとらえ、早期に改善していかなければならない。そのことは、校則についての生徒の納得、保護者の理解にもつながっていくと考えられる。

・教育庁（旧の再編成備課）の分析によると、「③長吉高校の授業はわかりやすい」「⑥自分の考えや意見を伝える力がついた」「⑩先生の指導は納得できる」「⑩学校行事に満足している」等の項目と「学校満足度」を問う項目は相関関係があるといわれ、今年度も③⑥⑩の項目が、高い数値となり、満足度は昨年度初めて 90%を超えたが、今年度はそれを上回る 93.5%の高い数値であった。エンパワメントスクールの達成目標である「エンパワメントスクールに来てよかった」が 90%以上を維持することができたことは、教職員がこの数字に満足することなく、学校全体として、日々の取り組みが評価されたと考えられる。